

委 39-1

第38回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨(案)

1. 日時 平成8年11月20日（水）
 14:00～16:00
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) M-Vロケット1号機による科学衛星MUSES-Bの打上げ等について
 (3) 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）計画に係る開発結果の評価について
 (4) 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）実験の成果について
 (5) ロシア無人火星探査機の落下について
4. 資料 委38-1 第37回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委38-2-1 平成8年度第2次観測ロケット実験計画概要（案）
 委38-2-2 M-V-1号機／MUSES-B衛星の打上げ計画書（案）
 委38-3 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）計画に係る開発結果の評価について（報告）（案）
 委38-4 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）の成果
 委38-5 ロシアの火星探査機の落下について
5. 出席者
 宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
 宇宙開発委員会委員 山 口 開 生

//

長 柄 喜一郎

関係省庁

郵政大臣官房技術総括審議官

甕 昭 男 (代理)

通商産業省機械情報産業局次長

河 野 博 文 (//)

事務局

科学技術庁長官官房審議官

大 熊 健 司

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 議事要旨の確認について

第37回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委38-1）について、2頁23行目 研究官の「官」を「員」に修正した上で確認された。

(2) M-Vロケット1号機による科学衛星MUSES-Bの打上げ等について

文部省宇宙科学研究所 上杉教授及び廣澤教授より、資料委38-2-1に基づき、平成9年度1月～2月に実施予定の観測ロケット実験計画について、実験期間、実験の内容等の説明があった。

また、資料委38-2-2に基づき、M-Vロケット1号機による科学衛星MUSES-Bの打上げ計画について、実験概要、目的、ロケットの概要、M-Vの概要等の説明があった。これに関し、委員より、打上げ予定が延期された原因であるロケット3段目の慣性計測装置に含まれるジャイロの調整結果、ロケットの衛星打上げ能力、MUSES-Bのアンテナ等について質問があったのち、同打上げ計画が了承された。

(3) 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）計画に係る開発結果の評価について

事務局より、資料委38-3に基づき、宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）に係る開発結果の評価に関する技術評価部会の報告書案について説明が行われ、同案が了承された。

(4) 宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）の成果について

文部省宇宙科学研究所 栗木教授及び名取教授より、資料委38-4に基づき、宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU）について、回収作業の経過、帰還後の作業経過等ミッションの概要、各種実験・観測の運用経過と成果について説明があった。

これに関し、委員より、宇宙赤外線望遠鏡（IRTS）により観測された宇宙空間の有機物質の分布、衛星運用中のデータの取得状況、材料曝露実験の結果、宇宙デブリの影響、12月に開催されるSFUシンポジウム等について質問があった。

(5) ロシア無人火星探査機の落下について

科学技術庁研究開発局宇宙政策課調査国際室 中西室長より、資料委38-5に基づき、11月16日（日本時間11月17日）に打ち上げられたロシアの無人火星探査機「マルス96」について、火星への軌道投入に失敗し、大気圏に再突入した後、南太平洋上に落下したこと、ロシア宇宙庁の発表によれば、原因は、ロケットの4段目の点火異常であり、また、探査機に搭載されていた原子力電池は落下しても危険はないとしていること等について説明があった。

これに関し、委員より、原子力電池の搭載箇所、落下時の安全性、打上げ失敗に関する情報の入手経路、米国における原子力電池の搭載状況、ロシアの火星探査計画への影響等について質問があった。

以上